

リバース式拡底杭工法（JSHR 工法）の 施工報告

Bell pile by reverse circulation (JSHR method) execution report

▶キーワード：工期短縮，リバース式拡底杭工法

松藤陽一*
内藤昌彦*
尾崎昌宏*
小椋由之*
堀内貴史*

*西日本（支）浜松建築（工）

概要

本工事は、静岡県浜松市の JR 浜松駅より徒歩 5 分圏内に位置する共同住宅（246 戸）及び商業・業務施設を主用途とした第一種市街地再開発事業である。

建物は地上 30 階建て鉄筋コンクリート造であり、場所打ちコンクリート杭を採用している。

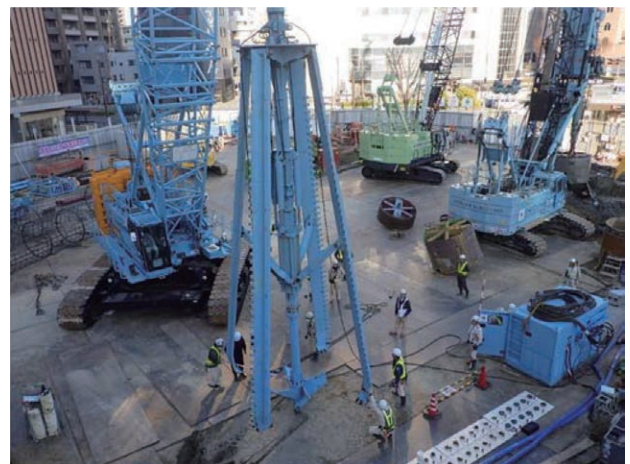
当初より着工時期が遅れたことにより工期短縮が命題であった。本報告では、工期短縮を目的としたリバース式拡底杭工法（JSHR 工法）の施工結果について報告する。

成果

- リバース工法を採用することによりアースドリル工法と比べ大幅な工期短縮ができた。
- リバース工法のデメリットでもある大型タンク設置において、建屋外に配置することによりタンクの移動をなくすことが出来た。
- 初めての実施工であり問題点があったが、迅速な改善を行うことで予定通り施工を完了した。



写真－1 施工状況



写真－2 拡底部ビット